

7月14日区長会議資料

<特別区制度の検討の進め方について>

- ・ 特別区制度の検討の進め方について

<本体資料>

- ・ 区割り案作成にあたって
- ・ 区割り案
- ・ 区割り案について
- ・ 区割り案に関する基礎データ

(参考資料)

- 資料① 各区の人口・世帯数・面積
- 資料②－1 行政区の変遷
- ②－2 行政区の概要
- 資料③－1 鉄道網
- ③－2 鉄道駅
- ③－3 乗降人員数
- 資料④ 災害関係資料
- 資料⑤－1 面積・人口・市民利用施設・行政機関・小中学校の状況
- ⑤－2 市民利用施設
- ⑤－3 市の行政機関、府の行政機関、国の機関
- ⑤－4 学校数、児童・生徒数
- 資料⑥ パーソントリップ交通量集計
- 資料⑦ 大阪市における商業の区別概況

特別区制度の検討の進め方について

副首都推進局

検討の枠組み

- ・副首都推進局が作成した区割り案に対して、区長会議総体としての見解をいただきたい。
- 区長会議の見解を参考にしつつ、大都市制度（特別区設置）協議会において協議される特別区素案の作成ベースとなる区割りの市長案として決定

日程（想定）

日 程	内 容
7月14日(金)	副首都推進局から、作成にあたっての考え方、区割り、関連資料を説明
↓	↓
7月中	区長会議としての見解のとりまとめ
以降	市長案として決定



特別区素案（事務分担、組織体制等）の検討・作成



協議会において素案全体を協議

特別区の区割り案作成にあたって

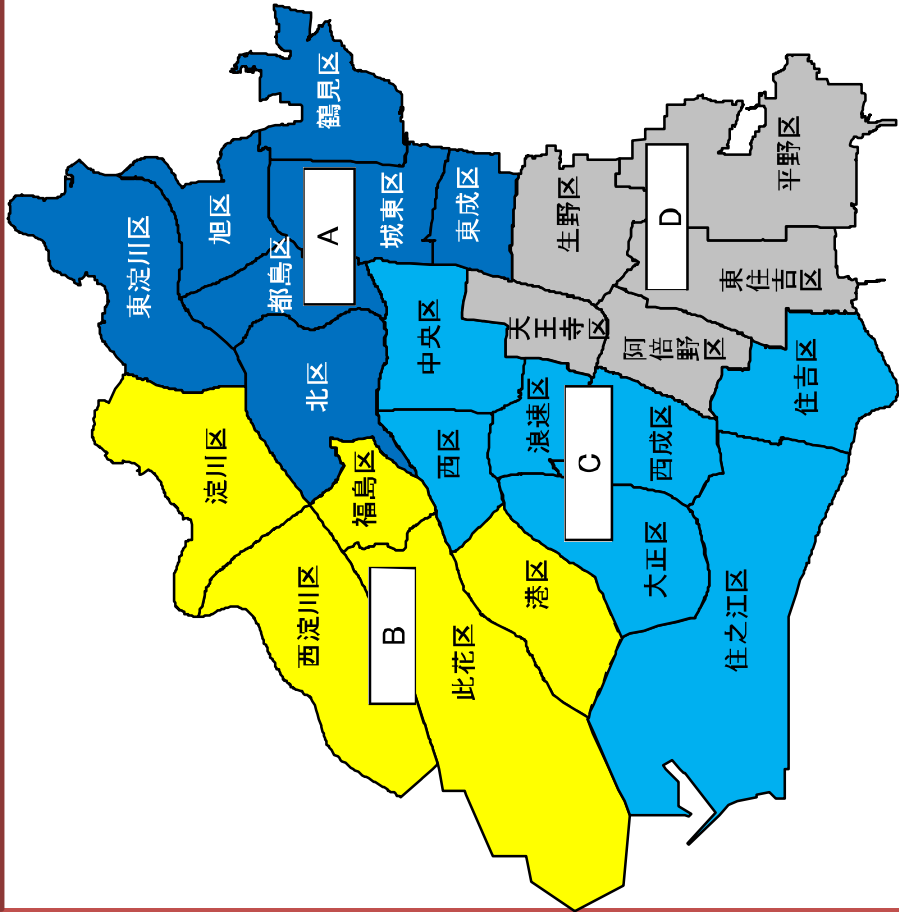
- 特別区は、中核市並みの権限をもつ住民に身近な基礎自治体として設置し、公選の区長と区議会のもと、地域の実情や住民ニーズに応じたサービスを提供することをめざす。
- 特別区の区割り案作成にあたっては、
- ・特別区が基礎自治体としての能力を発揮できるよう、財政基盤の安定と均衡をめざす
 - ・地域のつながり、地域コミュニティの維持・発展をめざす
- 以上を基本的な考え方とする。

【具体的な考え方（視点）】

- 1 各特別区における財政状況の均衡化が図れるよう最大限考慮する。
- 2 各特別区間における将来（H47を想定）の人口格差を概ね2倍以内とする。
- 3 これまで地域において築きあげてきたコミュニティを考慮し、過去の合区・分区の歴史的な経緯を踏まえる。
- 4 特別区内における住民の円滑な移動や住民間の交流を確保できるよう、鉄道網の接続や商業集積を考慮する。
- 5 災害対策について、防災上の視点について出来る限り考慮する。

区割り案

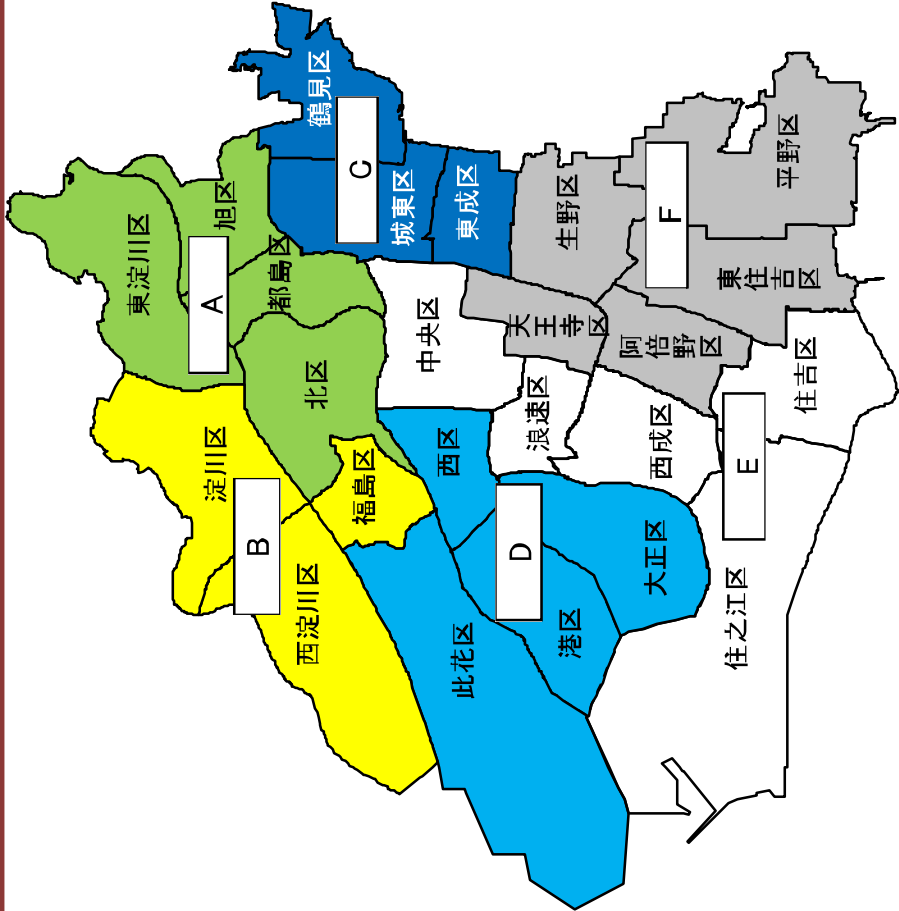
4 区案



区の内訳

- | | |
|---|-----------------------------|
| A | 北区・都島区・東淀川区・東成区・旭区・城東区・鶴見区 |
| B | 福島区・此花区・港区・西淀川区・淀川区 |
| C | 中央区・西区・大正区・浪速区・住之江区・住吉区・西成区 |
| D | 天王寺区・生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区 |

6 区案

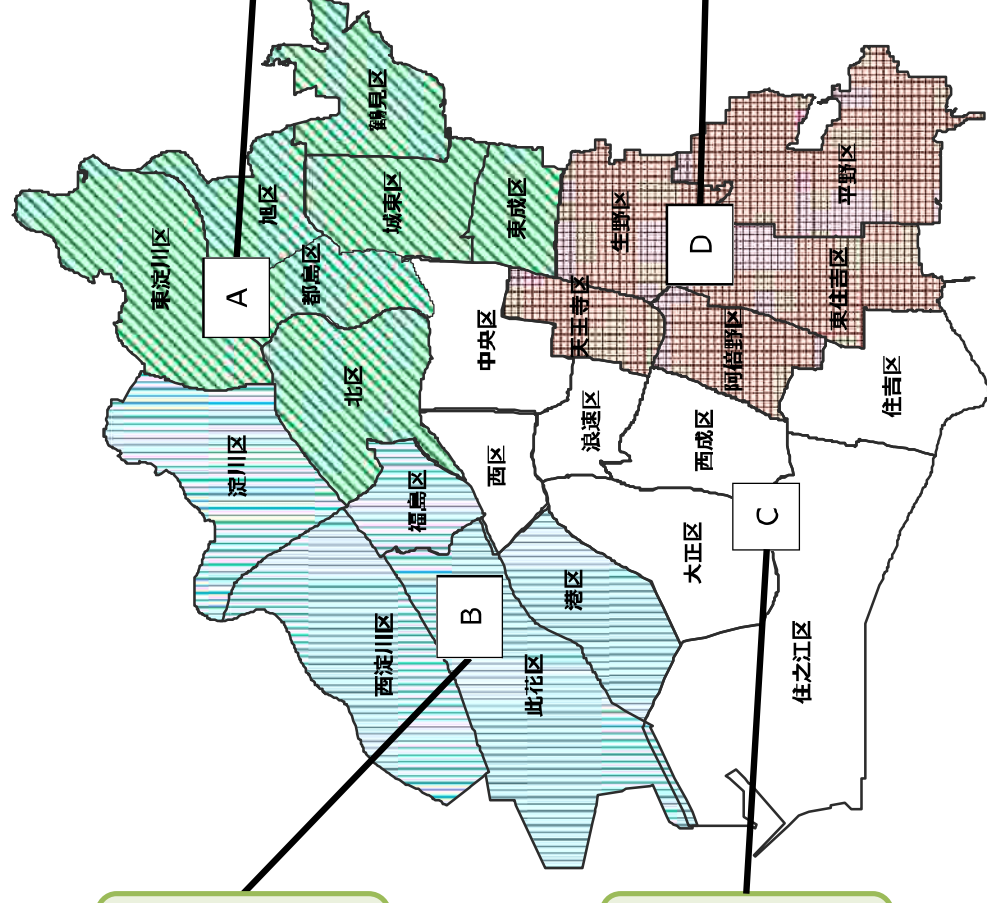


区の内訳

- | | |
|---|------------------------|
| A | 北区・都島区・東淀川区・旭区 |
| B | 福島区・西淀川区・淀川区 |
| C | 東成区・城東区・鶴見区 |
| D | 此花区・西区・港区・大正区 |
| E | 中央区・浪速区・住之江区・住吉区・西成区 |
| F | 天王寺区・生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区 |

特別区の区割り案について（4区案）

各特別区における財政状況（一人当たり自主財源）、将来人口（平成47年時点）、歴史的経緯、鉄道網・商業集積・防災の視点について考慮し、総合的に検討して案を作成



B

- 福島区・此花区・港区・西淀川区・淀川区 5区
- 一人当たり自主財源額93.6千円（H27）
 - H47人口44万4千人（H27 49万3千人）
 - 福島区は旧此花区等より分離
 - JR大阪環状線・東西線、阪神本線・なんば線が接続

A

- 北区・都島区・東淀川区・東成区・旭区・城東区・鶴見区 7区
- 一人当たり自主財源額95.8千円（H27）
 - H47人口78万7千人（H27 85万2千人）
 - 都島区は旧北区等より分離
 - 鶴見区は旧城東区より分区分
 - 旧城東区は旧旭区より分区分
 - 地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線、JR大阪環状線・東西線、京阪本線等が接続

C

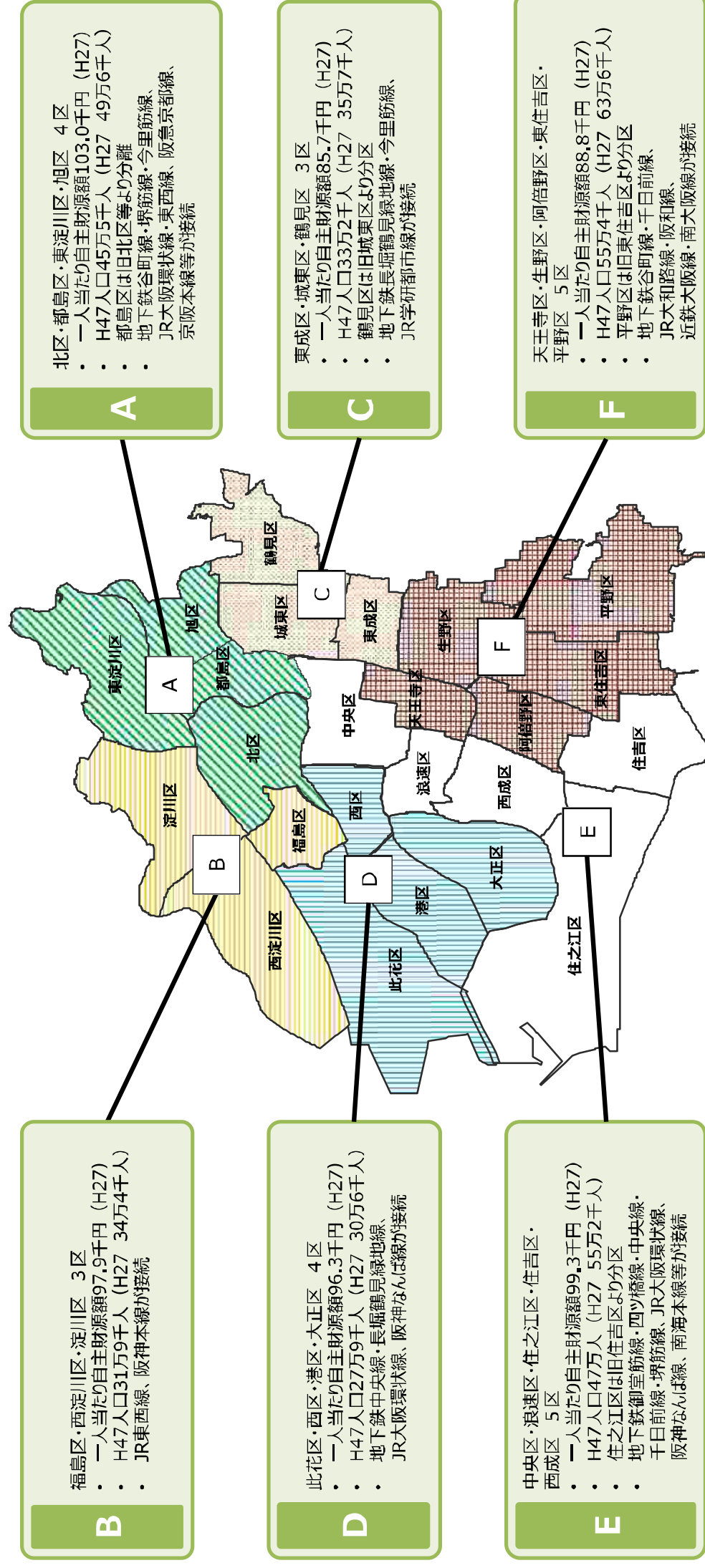
- 中央区・西区・大正区・浪速区・住之江区・住吉区・西成区 7区
- 一人当たり自主財源額101.3千円（H27）
 - H47人口62万4千人（H27 71万人）
 - 住之江区は旧住吉区より分区分
 - 地下鉄御堂筋線・四ツ橋線・中央線、千日前線・堺筋線・長堀鶴見緑地線、JR大阪環状線、阪神なんば線、南海本線等が接続

D

- 天王寺区・生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区 5区
- 一人当たり自主財源額88.8千円（H27）
 - H47人口55万4千人（H27 63万6千人）
 - 平野区は旧東住吉区より分区分
 - 地下鉄谷町線・千日前線、JR大和路線・阪和線、近鉄大阪線・南大阪線が接続

特別区の区割り案について（6区案）

各特別区における財政状況（一人当たり自主財源）、将来人口（平成47年時点）、歴史的経緯、鉄道網・商業集積、防災の視点について考慮し、総合的に検討して案を作成



区割り案について

	摘 要	
	4区案	6区案
区割り案作成にあたっての考え方		
1 各特別区における財政状況の均衡化を図れるよう最大限考慮	【H27年度一人当たり自主財源】 (最大 C区) 101.3千円 (最小 D区) 88.8千円 (格差) 1.14倍	【H27年度一人当たり自主財源】 (最大 A区) 103.0千円 (最小 C区) 85.7千円 (格差) 1.20倍
2 各特別区における将来(H47)の人口規模は可能な限り均等化	【H27国勢調査】 (最大 A区) 852,349人 (最小 B区) 492,866人 (格差) 1.73倍 【H47将来推計】 (最大 A区) 787,233人 (最小 B区) 444,351人 (格差) 1.77倍	【H27国勢調査】 (最大 F区) 636,454人 (最小 D区) 306,262人 (格差) 2.08倍 【H47将来推計】 (最大 F区) 554,067人 (最小 D区) 278,829人 (格差) 1.99倍
3 過去の合区・分区の歴史的な経緯を踏まえる	昭和7年以降の経緯を考慮 北 ⇒ 北・都島(昭和18年) 旭 ⇒ 旭・城東(昭和18年) 城東 ⇒ 城東・鶴見(昭和49年) 此花 ⇒ 福島・此花(昭和18年) 住吉 ⇒ 住之江・住吉(昭和49年) 東住吉 ⇒ 東住吉・平野(昭和49年)	昭和7年以降の経緯を考慮 北 ⇒ 北・都島(昭和18年) 城東 ⇒ 城東・鶴見(昭和49年) 住吉 ⇒ 住之江・住吉(昭和49年) 東住吉 ⇒ 東住吉・平野(昭和49年)
4 鉄道網の接続や商業集積(可能な限り一体化)を考慮	難波(中央・浪速) 天王寺(天王寺・阿倍野)	難波(中央・浪速) 天王寺(天王寺・阿倍野)
5 災害対策の面を考慮 (津波等の大規模災害を想定)	此花・港・西淀川／大正・住之江	西淀川／此花・港・大正／住之江

区割り案に関する基礎データ(人口・面積他)

4区案

区名	人口(人) (H27.10.現在)※1	将来推計人口(人) 平成47年 ※2	面積 (km ²) ※3	分区分区の変遷					鉄道路線 (2行政区以上 跨る路線を記載)	主な鉄道駅・ 商業集積地区
				昭和49年7月 26区制	昭和18年4月 22区制	昭和7年4月 15区制				
北区	123,667	128,460	10.34	北区	大淀区	北区			地下鉄谷町線・ 長堀鶴見緑地線・ 今里筋線・ JR大阪環状線・東西線・ 学研都市線・ 阪急京都線・千里線・ 京阪本線	梅田・大阪、 京橋
都島区	104,727	95,110	6.08	都島区		北区				
東淀川区	175,530	157,015	13.27	東淀川区	東淀川区	東淀川区				
東成区	80,563	73,360	4.54	東成区	東成区	東成区				
旭区	91,608	74,412	6.32	旭区	旭区	旭区				
城東区	164,697	149,698	8.38	城東区	城東区	旭区				
鶴見区	111,557	109,178	8.17	鶴見区	城東区	旭区				
A区計	852,349	787,233	57.10							
福島区	72,484	72,085	4.67	福島区	福島区	此花区				
此花区	66,656	55,721	19.25	此花区	此花区	此花区			JR大阪環状線・東西線・ 阪神本線・なんば線	新大阪、 西中島南方・ 南方
港区	82,035	69,833	7.86	港区	港区	港区				
西淀川区	95,490	89,262	14.22	西淀川区	西淀川区	西淀川区				
淀川区	176,201	157,450	12.64	淀川区	東淀川区	東淀川区				
B区計	492,866	444,351	58.64							
中央区	93,069	96,378	8.87	東区	東区	東区		南区		
西区	92,430	101,870	5.21	西区	西区	西区		西区		
大正区	65,141	51,405	9.43	大正区	大正区	大正区		大正区		
浪速区	69,766	62,658	4.39	浪速区	浪速区	浪速区		浪速区		
住之江区	122,988	101,645	20.61	住之江区	住吉区	住吉区		住吉区		
住吉区	154,239	133,756	9.40	住吉区	住吉区	住吉区		住吉区		
西成区	111,883	75,954	7.37	西成区	西成区	西成区		西成区		
C区計	709,516	623,666	65.28							
天王寺区	75,729	79,277	4.84	天王寺区	天王寺区	天王寺区		天王寺区		
生野区	130,167	105,311	8.37	生野区	生野区	東成区		東成区		
阿倍野区	107,626	95,903	5.98	阿倍野区	阿倍野区	住吉区		住吉区		
東住吉区	126,299	104,736	9.75	東住吉区	東住吉区	住吉区		住吉区		
平野区	196,633	168,840	15.28	平野区	東住吉区	住吉区		住吉区		
D区計	636,454	554,067	44.22							
合計	2,691,185	2,409,317	225.24							
格差 A÷B	1.73	1.77								

「人口及び将来推計人口」においては最大値及び最小値を、「分区分区の変遷」においては当時の同じ

※1:平成27年国勢調査結果による。

※2:平成22年国勢調査を基に平成25年10月1日の人口を推計し、これを将来推計の基準人口とした。(平成26年8月推計)

※3:面積は平成27年10月1日現在(国土地理院発表)。単位未満は四捨五入のため、各区の面積の合計は総数と一致しない。

について、「人口及び将来推計人口」においては最大値及び最小値を、「分区分区の変遷」においては当時の同じ区を太囲いにて表示。

区割り案に関する基礎データ(財政関係)

4区案

区 名	人口(人) (H27.10.1現在)※1	歳入合計 (H27年度調整後 単位:千円)	一人当たり歳入合計(H27 年度調整後 単位:千円)	自主財源※2 (H27年度 単位:千円)	一人当たり自主財源 (H27年度 単位:千円)
北区	123,667	105,557,078	853.6	20,101,623	162.5
都島区	104,727	17,692,173	168.9	9,870,528	94.3
東淀川区	175,530	22,666,316	129.1	13,606,369	77.5
東成区	80,563	13,610,809	168.9	6,978,986	86.6
旭区	91,608	11,430,005	124.8	7,483,603	81.7
城東区	164,697	23,482,056	142.6	14,269,814	86.6
鶴見区	111,557	16,586,801	148.7	9,322,921	83.6
A区計	852,349	211,025,238	247.6	81,633,844	95.8
福島区	72,484	19,019,289	262.4	8,670,366	119.6
此花区	66,656	17,382,020	260.8	5,538,780	83.1
港区	82,035	13,992,587	170.6	6,897,473	84.1
西淀川区	95,490	18,070,734	189.2	7,957,365	83.3
淀川区	176,201	42,508,209	241.2	17,083,012	97.0
B区計	492,866	110,972,839	225.2	46,146,996	93.6
中央区	93,069	107,560,672	1155.7	19,290,053	207.3
西区	92,430	38,087,583	412.1	12,079,357	130.7
大正区	65,141	10,486,629	161.0	4,986,120	76.5
浪速区	69,766	18,636,597	267.1	6,176,070	88.5
住之江区	122,988	27,958,078	227.3	9,738,216	79.2
住吉区	154,239	19,458,603	126.2	12,898,062	83.6
西成区	111,883	12,403,727	110.9	6,726,218	60.1
C区計	709,516	234,591,889	330.6	71,894,096	101.3
天王寺区	75,729	20,592,923	271.9	9,821,577	129.7
生野区	130,167	16,058,728	123.4	9,247,395	71.0
阿倍野区	107,626	22,971,017	213.4	12,040,229	111.9
東住吉区	126,299	18,273,700	144.7	10,793,631	85.5
平野区	196,633	25,601,303	130.2	14,626,558	74.4
D区計	636,454	103,497,671	162.6	56,529,390	88.8
合計／平均	2,691,185	660,087,637	245.3	256,204,326	95.2
最大／最小	A区／B区	C区／D区	C区／D区	A区／B区	C区／D区
格差(最大÷最小)	1.73	2.27	2.03	1.77	1.14

※1:平成27年国勢調査結果による。

□ について、最大値及び最小値を太囲いにて表示。

※2:自主財源は、個人市民税、軽自動車税、市たばこ税、譲与税・税交付金(一部)、交付金(一部)の累計で算出。

区割り案に関する基礎データ(人口・面積他)

6区案

区 名	人口(人) (H27.10.1現在)※1	将来推計人口(人) 平成47年 ※2	面積(km ²) ※3	分区分区の変遷			鉄道路線 (2行政区以上 跨る路線を記載)	主な鉄道駅・ 商業集積地区
				昭和49年7月 26区制	昭和18年4月 22区制	昭和7年4月 15区制		
北区	123,667	128,460	10.34	北区	大淀区	北区	地下鉄谷町線・堺筋線・ 今里筋線	梅田・大阪、 京橋
都島区	104,727	95,110	6.08	都島区		北区	JR大阪環状線・東西線・ 阪急京都線・千里線	
東淀川区	175,530	157,015	13.27	東淀川区	東淀川区	東淀川区	京阪本線	
旭区	91,608	74,412	6.32	旭区	旭区	旭区		
A区計	495,532	454,997	36.01					
福島区	72,484	72,085	4.67	福島区	福島区	此花区	JR東西線・ 阪神本線	新大阪、 西中島南方
西淀川区	95,490	89,262	14.22	西淀川区	西淀川区	西淀川区		
淀川区	176,201	157,450	12.64	淀川区	東淀川区	東淀川区		
B区計	344,175	318,797	31.53					
東成区	80,563	73,360	4.54	東成区	東成区	東成区	地下鉄長堀鶴見緑地線・ 今里筋線	京橋、放出
城東区	164,697	149,698	8.38	城東区	城東区	旭区	JR学研都市線	
鶴見区	111,557	109,178	8.17	鶴見区	城東区	旭区		
C区計	356,817	332,236	21.09					
西区	92,430	101,870	5.21	西区	西区	西区	地下鉄中央線・ 長堀鶴見緑地線	弁天町、 肥後橋
此花区	66,656	55,721	19.25	此花区	此花区	此花区	JR大阪環状線・ 阪神なんば線	
港区	82,035	69,833	7.86	港区	港区	港区		
大正区	65,141	51,405	9.43	大正区	大正区	大正区		
D区計	306,262	278,829	41.75					
中央区	93,069	96,378	8.87	東区	南区	南区	地下鉄御堂筋線・中央線・ 千日前線・四つ橋線	難波、 淀屋橋
浪速区	69,766	62,658	4.39	浪速区	浪速区	浪速区	堺筋線・JR大阪環状線・ 南海本線・高野線	
住之江区	122,988	101,645	20.61	住之江区	住吉区	住吉区	汐見橋線・阪神なんば線・ 阪堺阪界線	
住吉区	154,239	133,756	9.40	住吉区	住吉区	住吉区		
西成区	111,883	75,954	7.37	西成区	西成区	西成区		
E区計	551,945	470,391	50.64					
天王寺区	75,729	79,277	4.84	天王寺区	天王寺区	天王寺区	地下鉄谷町線・千日前線・ JR大和路線・阪和線	天王寺・ 大阪阿部野橋、 鶴橋
生野区	130,167	105,311	8.37	生野区	生野区	東成区	近鉄大阪線・南大阪線	
阿倍野区	107,626	95,903	5.98	阿倍野区	阿倍野区	住吉区		
東住吉区	126,299	104,736	9.75	東住吉区	東住吉区	住吉区		
平野区	196,633	168,840	15.28	平野区	東住吉区	住吉区		
F区計	636,454	554,067	44.22					
合計	2,691,185	2,409,317	225.24					
倍率 F÷D	2.08	1.99						

について、「人口及び将来推計人口」においては最大値及び最小値を、「分区分区の変遷」においては当時の同じ区を太囲いにて表示。

※1:平成27年国勢調査結果口よる。

※2:平成22年国勢調査を基に平成25年10月1日の人口を推計し、これを将来推計の基準人口とした。(平成26年8月推計)

※3:面積は平成27年10月1日現在(国土地理院発表)。単位未満は四捨五入のため、各区の面積の合計は総数と一致しない。

区割り案に関する基礎データ(財政関係)

6区案

区 名	人口(人) (H27.10.1現在)※1	歳入合計 (H27年度調整後 単位:千円)	一人当たり歳入合計(H27 年度調整後 単位:千円)	自主財源※2 (H27年度 単位:千円)	一人当たり自主財源 (H27年度 単位:千円)
北区	123,667	105,557,078	853.6	20,101,623	162.5
都島区	104,727	17,692,173	168.9	9,870,528	94.3
東淀川区	175,530	22,666,316	129.1	13,606,369	77.5
旭区	91,608	11,430,005	124.8	7,483,603	81.7
A区計	495,532	157,345,572	317.5	51,062,123	103.0
福島区	72,484	19,019,289	262.4	8,670,366	119.6
西淀川区	95,490	18,070,734	189.2	7,957,365	83.3
淀川区	176,201	42,508,209	241.2	17,083,012	97.0
B区計	344,175	79,598,232	231.3	33,710,743	97.9
東成区	80,563	13,610,809	168.9	6,978,986	86.6
城東区	164,697	23,482,056	142.6	14,269,814	86.6
鶴見区	111,557	16,586,801	148.7	9,322,921	83.6
C区計	356,817	53,679,666	150.4	30,571,721	85.7
西区	92,430	38,087,583	412.1	12,079,357	130.7
此花区	66,656	17,382,020	260.8	5,538,780	83.1
港区	82,035	13,992,587	170.6	6,897,473	84.1
大正区	65,141	10,486,629	161.0	4,986,120	76.5
D区計	306,262	79,948,819	261.0	29,501,730	96.3
中央区	93,069	107,560,672	1155.7	19,290,053	207.3
浪速区	69,766	18,636,597	267.1	6,176,070	88.5
住之江区	122,988	27,958,078	227.3	9,738,216	79.2
住吉区	154,239	19,458,603	126.2	12,898,062	83.6
西成区	111,883	12,403,727	110.9	6,726,218	60.1
E区計	551,945	186,017,677	337.0	54,828,619	99.3
天王寺区	75,729	20,592,923	271.9	9,821,577	129.7
生野区	130,167	16,058,728	123.4	9,247,395	71.0
阿倍野区	107,626	22,971,017	213.4	12,040,229	111.9
東住吉区	126,299	18,273,700	144.7	10,793,631	85.5
平野区	196,633	25,601,303	130.2	14,626,558	74.4
F区計	636,454	103,497,671	162.6	56,529,390	88.8
合計／平均	2,691,185	660,087,637	245.3	256,204,326	95.2
最大／最小	F区／D区	E区／C区	E区／C区	F区／D区	A区／C区
格差(最大÷最小)	2.08	3.47	2.24	1.92	1.20

※1:平成27年国勢調査結果による。

※2:自主財源は、個人市民税、軽自動車税、市たばこ税、譲与税・税交付金(一部)、交付金(一部)の累計で算出。

□ について、最大値及び最小値を太困いにて表示。